授業科目	＊貧困に対する支援					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	木村　茂喜						
授業概要	健康で文化的な最低限度の生活を維持できない者に対する支援は、国家がその不足分について無差別平等に援助を行い、もって国民の生存権を直接保障する制度である生活保護制度を中心とした公的扶助制度が重要な役割を果たしている。貧困状態にある者や社会的に排除されている者に対して、福祉専門職が適切な援助を行うためには、公的扶助制度に関する全般的な知識が当然不可欠である。 本講では、公的扶助制度の理念、生活保護法の原理・原則、生活保護法を中心とした公的扶助制度の内容・手続、低所得者層・ホームレスに対する施策のほか、現代の貧困問題や公的扶助制度が抱える課題について学習する。						
授業形態	講義			授業方法	学生の講義内容の理解度を確認するため、講義中および講義終了時に Google Form を使った確認テストを実施する。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	・低所得者層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際についてある程度理解している。(DP1-2,3-1) ・生活保護法の原理・原則、保護の種類と内容、手続、管理運営体制についてある程度正確に理解している。(DP1-1,1-2) ・生活保護制度における専門職の役割と他職種との連携についてある程度理解している。(DP1-2,3-1) ・低所得者層・ホームレスに対する諸施策について理解している。(DP1-1,1-2) ・自立支援プログラム・生活困窮者自立支援の目的と実際についてある程度理解している。(DP1-1,1-2,3-1)
理想的レベル	・低所得者層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際について正確に理解している。(DP1-2,3-1) ・生活保護法の原理・原則、保護の種類と内容、手続、管理運営体制について正確に理解している。(DP1-1,1-2) ・生活保護制度における専門職の役割と他職種との連携について正確に理解している。(DP1-2,3-1) ・低所得者層・ホームレスに対する諸施策について正確に理解している。(DP1-1,1-2) ・自立支援プログラム・生活困窮者自立支援の目的と実際について正確に理解し、低所得者層の自立とその支援のあり方について考察することができる。(DP1-1,1-2,3-1)

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	
小テスト	30%	
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	20%	各講義終了後、学生より提出されたコメントの記述内容に基づき評価する。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

＊貧困に対する支援

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE21219J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
予習：テキスト該当部分に目を通す 復習：テキスト該当部分・レジュメの見直し	4

授業計画	
第１回	テーマ：イントロダクション、公的扶助・生活保護とは 講義の進め方、公的扶助・生活保護制度の概念と社会保障制度における位置づけについて解説する。
第２回	テーマ：低所得者層の生活実態、貧困と公的扶助 低所得者の生活実態やこれを取り巻く社会情勢、福祉需要の実際について解説する。
第３回	テーマ：生活保護法の基本原理 生活保護法の目的と基本原理について解説する。
第４回	テーマ：生活保護法の基本原則と支給手続（１）申請・ミーンズテスト 保護の申請からミーンズテストまでの手続と手続過程における生活保護法の基本原則について解説する。
第５回	テーマ：生活保護法の基本原則と支給手続（２）要否判定・支給 前回に引き続き、保護の要否判定から実際に支給に至るまでの手続と手続過程における生活保護法の基本原則について解説する。
第６回	テーマ：保護の種類と内容（オンデマンド） 生活保護制度における各扶助（生活・教育・住宅・医療・介護・出産・生業・葬祭）の概要、保護施設について解説する。
第７回	テーマ：生活保護基準の考え方 生活保護制度によって保障される生活水準、生活扶助基準の設定方法、生活保護基準の実際について解説する。
第８回	テーマ：生活保護と住宅・医療・介護 住宅扶助・医療扶助・介護扶助の運用と課題について解説する。
第９回	テーマ：被保護者の権利および義務、権利救済 被保護者の権利および義務、不服申立て制度・行政訴訟について解説する。
第10回	テーマ：生活保護の運営実施体制と関係機関・団体（オンデマンド） 生活保護制度における国・地方公共団体の役割、保護の実施機関である福祉事務所の組織と業務について解説する。
第11回	テーマ：生活保護の費用、生活保護の動向 生活保護の費用負担、生活保護の最近の動向について解説する。
第12回	テーマ：生活困窮者自立支援法と就労支援 生活困窮者自立支援法の目的と各事業の概要、自立支援プログラムの概要、就労自立給付金について解説する。
第13回	テーマ：低所得者層に対する施策 ホームレス・子どもの貧困に対する施策、生活福祉資金貸付制度、無料低額宿泊所について解説する。

＊貧困に対する支援

第 14 回	テーマ：公的扶助制度の歴史 イギリスと日本における公的扶助制度の歴史について解説する。
第 15 回	テーマ：公的扶助制度の課題 公的扶助制度を取り巻く現状と課題について解説する。
テキスト	増田雅暢・脇野幸太郎編『よくわかる公的扶助論』（法律文化社） ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法 2024[令和 6 年版]』（ミネルヴァ書房） そのほか、毎回の講義開始前に、レジュメを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜、講義を理解する上で参考となる諸文献を挙げる。
課題に対するフィードバックの方法	小テストは提出後すぐに解答と解説が返却される。 コメントカードに書かれた質問、意見については、次回の講義の冒頭で回答や補足説明を行う。 定期試験終了後、解答例を Classroom に掲示する。
学生へのメッセージ・コメント	社会保障 I（2 年前期・必修）および社会保障 II（2 年後期・必修）の講義内容について、理解していることが望ましい。 新聞・テレビ等で取り上げられる、本講のテーマに関する最新の諸情報を入手しておくことが望ましい。

＊貧困に対する支援